

丸徳グループ

車両分科会

だ

よ

り

Vol.25

丸徳グループ各社従業員の皆様
毎日の業務、ご苦労様です。

今月の記載内容は・・・

- ・ **死角に潜むキケン**と事故パターン
- ・ 自分の**運転の癖**をセルフチェック！
- ・ 交通ヒヤリハット
(太陽光で眩しい場所での運転)
- ・ 愛知県警からのリーフレット3月

『目視』で回避！



死角に潜むキケンと事故パターン

- 『目視』の重要性に着目しながら、死角になる場所や死角にはいりやすいものをチェック！

①車の死角とは？



■ ウィンドウから下

⇒ 小さい子供が見えないかも！

■ 走行中の車の真横

⇒ 左折時に巻き込んでしまうかも！



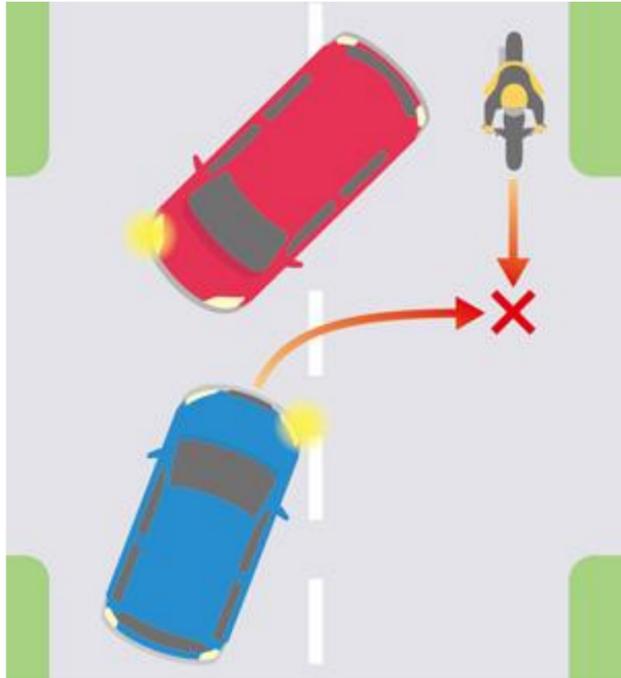
■ 細くて狭い死角を作り出すピラー（柱）

⇒ 『急に目の前に歩行者が現れた！』
なんてことになるかも！

②死角に入りやすい3大キケン

- | | |
|-------|-----------------|
| • 子ども | 道路への飛び出しに注意！ |
| • 自転車 | 急な方向転換や道路横断に注意！ |
| • バイク | 車の間をすり抜ける時に注意！ |

③死角による3つの事故多発パターン



■右折事故

車からは自転車が遠く、遅く見える距離と速度感を測り損ねたことにより起こる

■左折事故

交差点付近で二輪車が並走しているときに起こる また対抗から渡ろうとする二輪車にも注意！



■サンキュー事故

対向車線の二輪車に気付かず起こる 『早く通過しないと！』という気持ちをグッとこらえて

●○● まとめ ●○●

車には死角が存在することを十分に理解し、**「目視」との二重チェック**がポイントです。死角に対する意識を高めましょう！

安全運転チェック!

下記A~Dの中から、自分に当てはまる項目を全て選び
運転の悪い癖が無いか、診断してみましょう😊

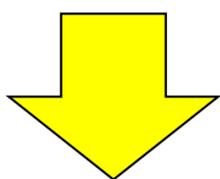
A. 運転操作上の癖

- 1 エンジンが始動するとすぐ発進する
- 2 不要な空吹かしをする
- 3 シフトレバーに片手を置く
(片手ハンドル運転)
- 4 シートベルトを面倒くさがる
(発進後のシートベルトも含む)
- 5 危険を咄嗟のハンドルで避ける



B. 慎重さを欠く癖

- 1 走行中にミラーを直す
(乗車時に調整しない)
- 2 ギリギリいっぱい的車間をつめて走る
- 3 バックミラーだけで見当をつけてバックする
- 4 形ばかりの一旦停止、よく左右を見ない
- 5 運転中にスマホや携帯電話で話をする



つづく。。。

C. 図々しくふるまう癖

- 1 停止線があっても、その手前で完全停止しない
- 2 周りが暗くなっても車幅灯を点灯しない
- 3 横断歩道で小刻みにせり出し、歩行者をけん制
- 4 交差点付近で、安直に駐車する

D. 自己中心の癖

- 1 いつも先頭を走らないと気が済まない
- 2 突然の割り込み運転
- 3 渋滞中に、雑誌等を読む
- 4 歩道にタイヤを掛けて駐車する

◆あなたは何個当てはまりましたか？

★この機会に運転を見直しましょう😊

0個	…	青信号ドライバー	⇒	ベストドライバー★
1～5個	…	黄色点滅ドライバー	⇒	もらい事故の可能性あり
6～10個	…	赤色点滅ドライバー	⇒	事故を起こす可能性が！
11個以上	…	赤信号ドライバー	⇒	危険！

交通 ヒヤリハット

ヒヤリ：太陽光で眩しい場所での運転



状況

太陽光が眩しく前方が見にくい状況で右折しようとしている。



ヒヤリ

大丈夫と判断し右折したが、直進してきたトラックに気付くのが遅れ、ぶつかりそうになった。

時間帯によっては太陽光が眩しく、運転に影響する場面があります。
「大丈夫だろう」はやめて、サンバイザー、サングラスなどを適宜使用し安全確認を徹底しましょう。
また事前に状況下で起こりえる危険予知もしておきましょう。



夕方の5～7(ゴータナ)は“魔の時間”
～歩行者は反射材等を着用
ドライバーは早めのライトオン～

交通事故防止の POINT

R7-3



自動車運転中の交通事故防止～運転中に意識してほしいこと～

自動車は、便利な移動手段である一方、運転方法によっては、人の命を奪う危険性のある乗り物でもあります。



そこで今回は、ドライバーの方が運転中に意識してほしいポイントを紹介します。

※各データは令和2年～令和6年に愛知県内で発生した交通事故をもとに作成

自動車が第一当事者となる死亡事故の特徴

【事故類型別内訳】



横断中の歩行者との衝突が全体の約4分の1を占めています！

【横断中事故の衝突地点】



横断中事故の6割以上が横断歩道以外の場所で発生しています！

ドライバーが横断中の歩行者をいち早く発見し、停止する、速度を落とすなどにより多くの事故を防ぐことができます。次に「横断中の歩行者との死亡事故」には次の特徴がありますので、この点に注意した運転をしてください。

ドライバーから見て

右から横断してくる歩行者

との死亡事故が多発しています。

【自動車×歩行者 進行方向別死亡事故件数】

※事故類型「横断中」かつ信号のない場所での死亡事故を抽出

総数	左から横断	→差→	右から横断	計
	21	4.1倍	86	107

「右から」は「左から」の約4倍も発生しています！

昼夜別	左から横断		→差→		右から横断		計
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
昼間	8	3.0倍	24		32		
夜間	13	4.8倍	62		75		

夜間は件数と比率がともに高くなります！

衝突地点	左から横断		→差→		右から横断		計
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
横断歩道	4	4.0倍	18		21		
横断歩道以外	17	4.5倍	68		86		

横断歩道以外が多発しています！

ドライバーは、

- ①横断歩道手前では、必ず左右の安全を確認し、歩行者を発見したら必ず止まらしましょう。
- ②歩行者を発見してもすぐ対応できるよう、制限速度を必ず守りましょう。
- ③左側の店舗の看板や明かりなどに気を奪われることなく、常に前方注視を怠らないようにしましょう。

右から横断



○右から横断してくる歩行者は、「車がまだ遠くにいるから横断できる」と思い横断してしまうことが原因として考えられます。

○横断歩道のない単路を走行中、「まさか右から歩いてくる人はいない」と油断していませんか？